

## SRC 自主調査の調査結果について

## 緊急事態宣言後の「接触機会」に関する調査（4月3日～4月10日）

## ■趣旨

- 2020年4月7日に、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出され、以後の生活行動における『人との接触機会』はどのように変化しているのでしょうか
- サーベイリサーチセンターでは、下記の実施体制で、**2020年4月11日（土）～12日（日）**にインターネットリサーチモニターに対する自主調査として『緊急事態宣言後の「接触機会」に関する調査』を実施しました

## ■実施体制

- 調査主体 株式会社サーベイリサーチセンター <https://www.surece.co.jp/contact/>  
SRC情報総研
- 監修・協力 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 准教授 関谷 直也  
naoya@iii.u-tokyo.ac.jp  
東京大学大学院学際情報学府 博士後期課程 安本 真也

## ■調査概要

- 緊急事態宣言においては、人と人との接触を7割から8割削減することで、感染者の増加をピークアウトさせることを目標とした外出自粛が要請されています
- 以後の生活行動における『人との接触機会』の変化を「仕事」「外出」「夜の街での会食」「密閉・密集・密接空間での活動」「1日を総合的にみて」の5つの視点で、毎日の「接触度」をアンケート形式で日別調査しています
- 社会機能の維持や事業・業務特性などから在宅型へのシフトが難しい課題がある「仕事」にスコープするために、この調査は「通勤を伴う仕事をしている人」に対して、東京都500人・大阪府500人・計1,000人に調査しました（実施概要はP6のとおり）
- 調査は、**4月3日（金）～10日（金）**についておたずねしています



## 質問形式

あなたは、普段と比べて人との接触の機会（手を伸ばすと触れあう距離・2メートル以内に他の人がいること、3語以上の会話、握手などの物理的な接触）は、おおむねどのくらいだと思いますか。

※**普段を10割（100%）として、その日はどの程度かを主観でお考えください**

【仕事】1日の仕事上の、人との接触を割合で教えてください

【外出】1日の外出中の、人との接触の割合で教えてください

【夜の街での会食】会食がなければ0、ある場合、普段と比べて人との接触割合はどうか

【密閉・密集・密着空間での活動】あてはまる活動がなければ0、ある場合、普段と比べて人との接触割合はどうか

## 回答形式(イメージ)

	1. 「仕事」での人との接触	2. 「外出」での人との接触	3. 「夜の街での会食」での人との接触	4. 「密閉・密集・密着空間での活動」での人との接触	5. 「1日を総合的にみて」の人との接触
1. 10割（100%） ※普段と同じくらいかそれ以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 9割（90%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 8割（80%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 7割（70%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 6割（60%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 5割（50%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 4割（40%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 3割（30%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 2割（20%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 1割（10%）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 0割（まったくしていない）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## ■資料の見方

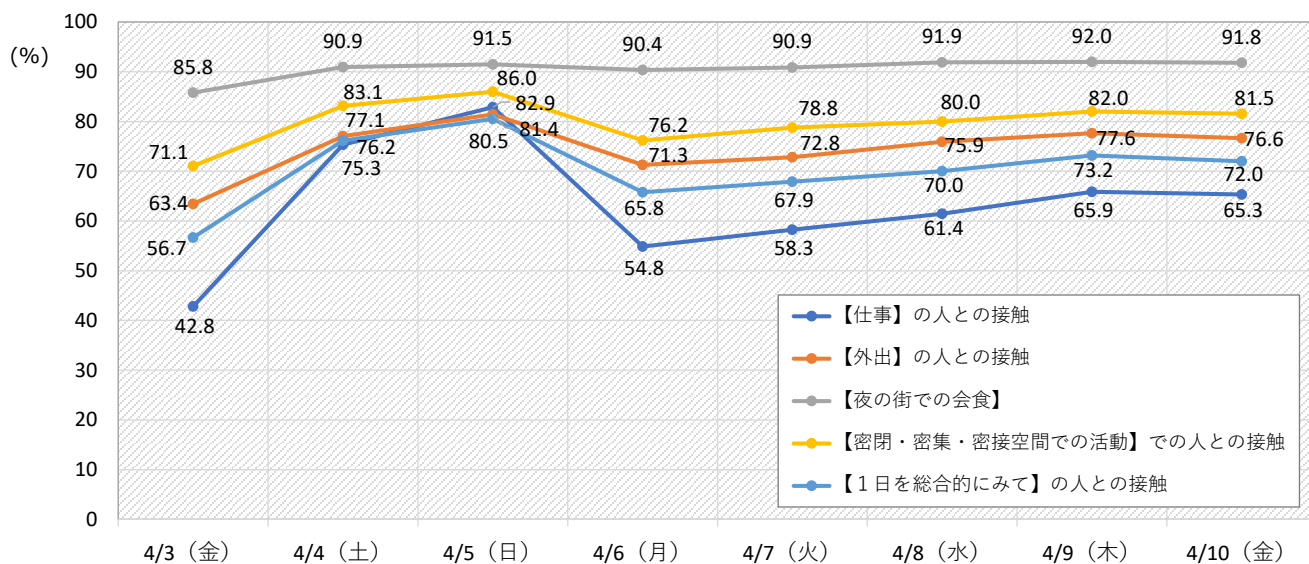
- 調査は、「普段」の【人との接触の割合】を10割（100%）として、その日がどの程度だったかを答える形式です
- 人との接触の機会を「手を伸ばすと触れあう距離・2メートル以内に他の人がいること、3語以上の会話、握手などの物理的な接触」と例示しています
- この調査は、回答者の主観的な評価をお答え頂いたものですが、今後も継続的に調査を行うことで、時系列推移を把握することが可能となります
- 普段 = 10割（100%）に対する接触度で回答を受けていますが、本資料において「低減度」を示す際には、回答を以下の形に置き換えています（外出自粛要請に対する指標として見やすい表現）
- 次回調査は、2020年4月18日（土）・19日（日）に実施し、4月11日（土）～4月17日（金）について実施する予定です（翌週公表予定）

回答選択肢と低減率への対応表

回答選択肢	低減率（係数）
10割（100%） ※普段と同じくらいかそれ以上	0
9割（90%）	10
8割（80%）	20
7割（70%）	30
6割（60%）	40
5割（50%）	50
4割（40%）	60
3割（30%）	70
2割（20%）	80
1割（10%）	90
0割（まったくしていない）	100



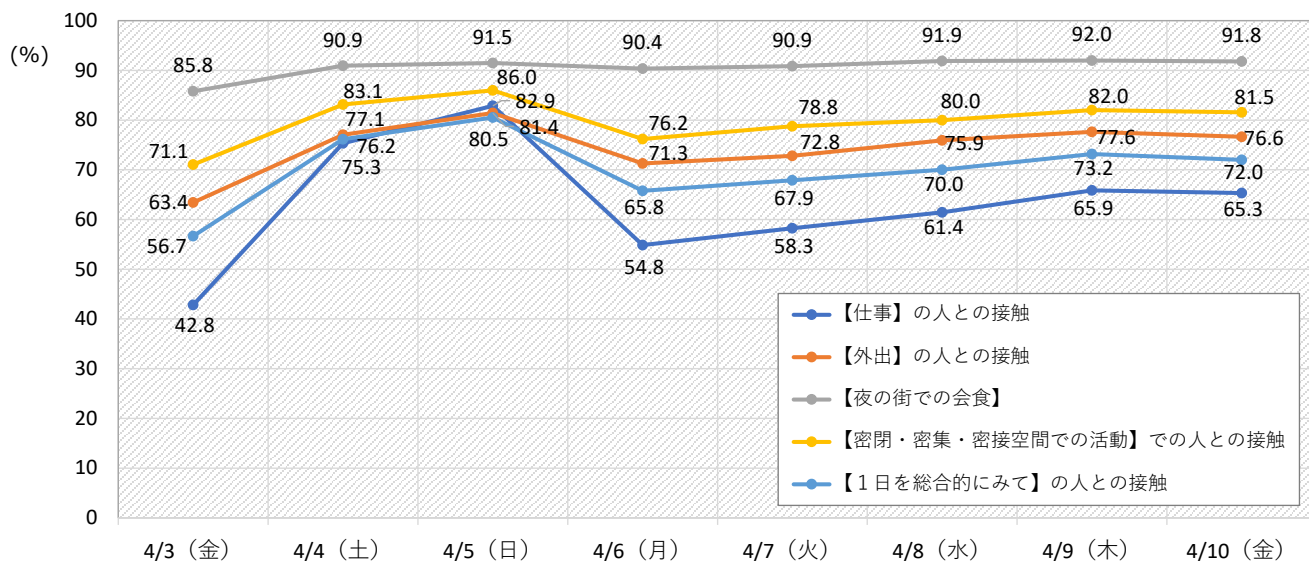
項目別低減度（例）



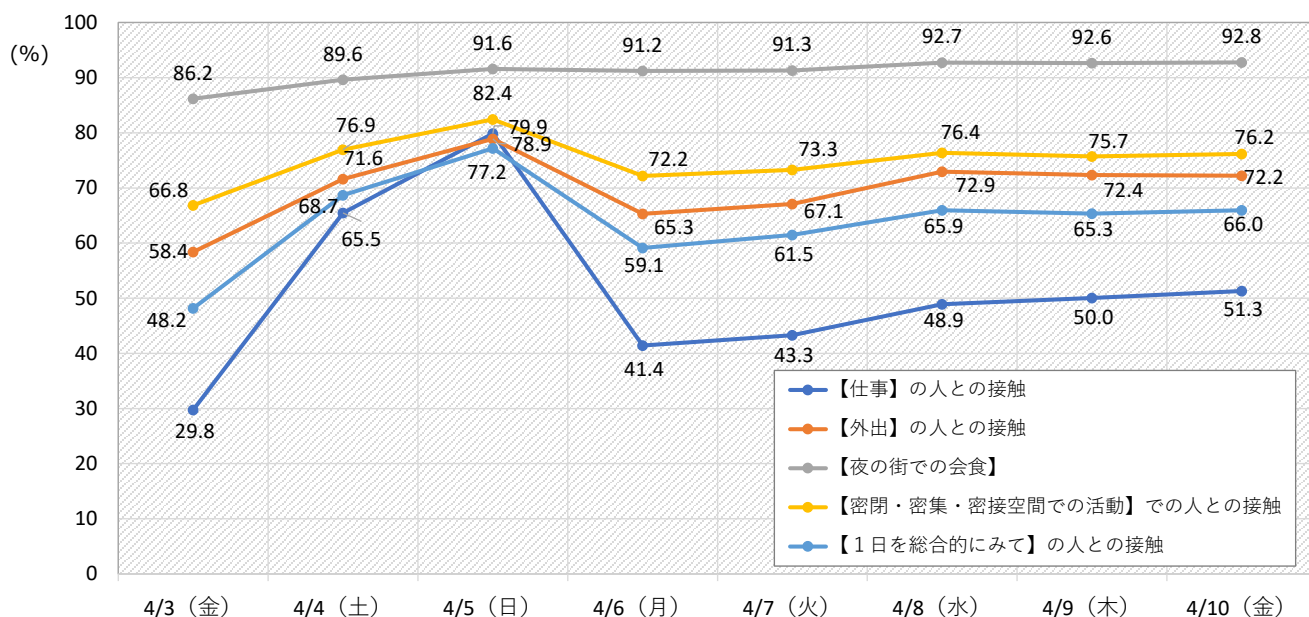
## ■日別 普段（100.0）に対する低減度

- 東京、大阪ともに4/3時点（緊急事態宣言発出の4日前）では、どの項目も現状より低い値であり、特に【仕事】が低い点は2都市に共通している
- 【夜の街での会食】は、東京、大阪ともに4/3時点から低減度が8.5割以上と高く、以後、9割台で高止まりしている
- 【仕事】は、4/4～4/5の土日に一旦低減度が上昇するが平日には再び低下する。しかしながら、4/3時点の数値と4/6時点の数値を比べると、東京、大阪ともに約12ポイント上昇している
- 【仕事】は、大阪では4/3時点で約3割を示しているが、4/9以降は5割台となっている。東京では、4/3時点で約4割、4/8日以降は6割台となり、大阪よりも10ポイント以上高い
- 【外出】や【3密空間での活動】は、東京、大阪ともに7～8割台となっている

東京 4/3～4/10 項目別低減度（平均） n=500



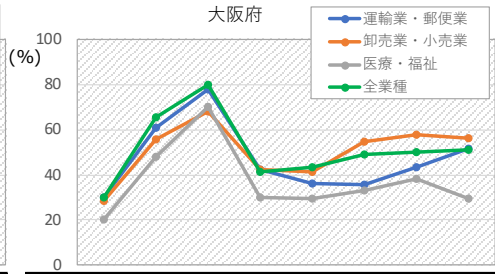
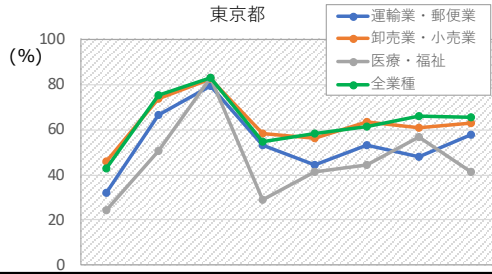
大阪 4/3～4/10 項目別低減度（平均） n=500



## ■日別 普段（100.0）に対する低減度【職業別】

- 業種では、医療・福祉や運輸・郵便業で、接触の低減が難しい状況が示されている
- 職種の接客・非接客では、東京では非接客サービスの低減度がやや高く、大阪ではサービスそのものが全体比でやや低い（分析の基数となるnの件数が少ない項目については、参考値とされたい）

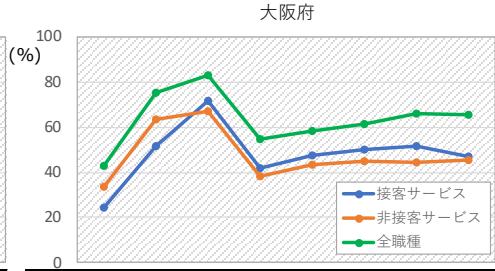
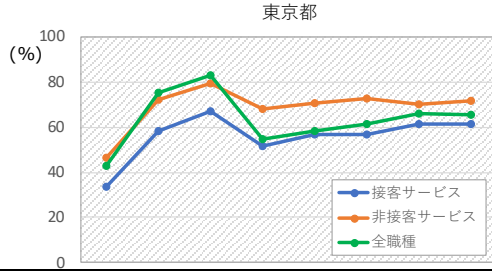
### 4/3~4/10 【仕事】の人との接触における低減度【業種別】（平均）



	n	4/3 (金)	4/4 (土)	4/5 (日)	4/6 (月)	4/7 (火)	4/8 (水)	4/9 (木)	4/10 (金)
運輸業・郵便業	24	32.1	66.3	79.2	52.9	44.2	53.3	47.9	57.9
卸売業・小売業	50	45.8	73.8	82.2	58.0	56.4	63.4	61.0	62.6
医療・福祉	37	24.3	50.5	83.0	29.2	41.1	44.3	56.5	41.4
全業種	500	42.8	75.3	82.9	54.8	58.3	61.4	65.9	65.3

	n	4/3 (金)	4/4 (土)	4/5 (日)	4/6 (月)	4/7 (火)	4/8 (水)	4/9 (木)	4/10 (金)
運輸業・郵便業	29	30.0	60.7	77.6	42.1	36.2	35.9	43.1	51.7
卸売業・小売業	66	28.6	55.8	67.1	42.6	41.5	54.7	57.6	56.1
医療・福祉	70	20.4	48.0	70.1	30.1	29.6	32.9	38.1	29.4
全業種	500	29.8	65.5	79.9	41.4	43.3	48.9	50.0	51.3

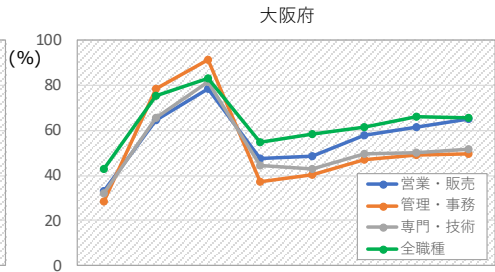
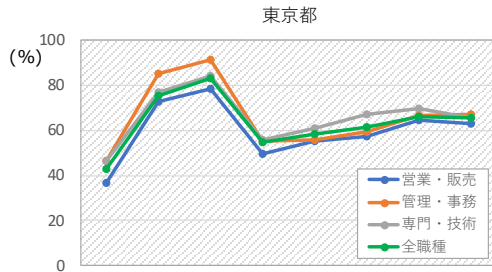
### 4/3~4/10 【仕事】の人との接触における低減度【職種別①】（平均）



	n	4/3 (金)	4/4 (土)	4/5 (日)	4/6 (月)	4/7 (火)	4/8 (水)	4/9 (木)	4/10 (金)
接客サービス	93	33.8	58.3	66.9	51.4	56.6	56.6	61.2	61.4
非接客サービス	22	46.4	72.3	79.1	68.2	70.5	72.7	70.0	71.8
全職種	500	42.8	75.3	82.9	54.8	58.3	61.4	65.9	65.3

	n	4/3 (金)	4/4 (土)	4/5 (日)	4/6 (月)	4/7 (火)	4/8 (水)	4/9 (木)	4/10 (金)
接客サービス	100	24.5	51.5	71.5	41.6	47.3	49.8	51.5	46.9
非接客サービス	38	33.7	63.2	67.1	38.2	43.4	44.7	44.5	45.5
全職種	500	42.8	75.3	82.9	54.8	58.3	61.4	65.9	65.3

### 4/3~4/10 【仕事】の人との接触における低減度【職種別②】（平均）



	n	4/3 (金)	4/4 (土)	4/5 (日)	4/6 (月)	4/7 (火)	4/8 (水)	4/9 (木)	4/10 (金)
営業・販売	51	36.7	72.4	78.2	49.6	54.9	57.5	64.5	62.7
管理・事務	173	46.3	84.8	91.1	55.3	55.8	59.1	66.4	66.8
専門・技術	132	46.4	76.7	83.9	55.8	60.6	66.9	69.3	65.2
全職種	500	42.8	75.3	82.9	54.8	58.3	61.4	65.9	65.3

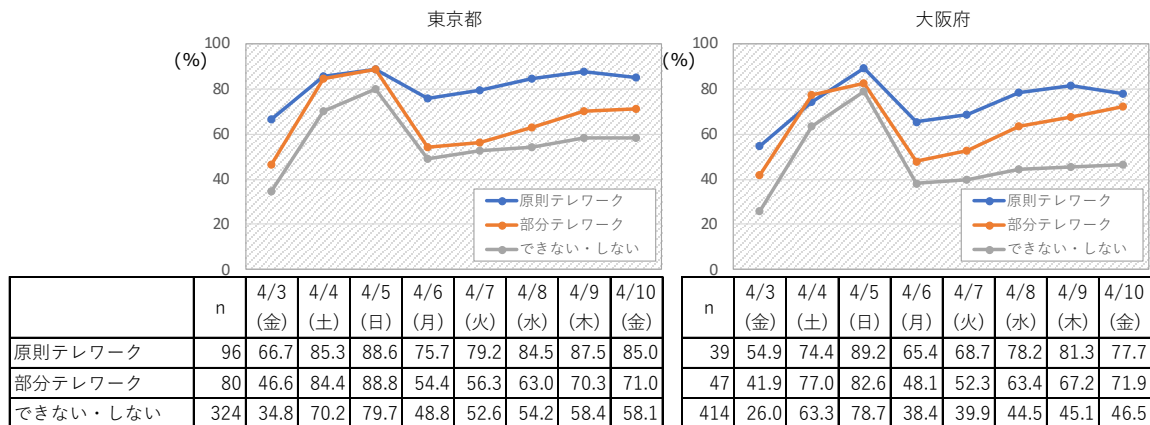
	n	4/3 (金)	4/4 (土)	4/5 (日)	4/6 (月)	4/7 (火)	4/8 (水)	4/9 (木)	4/10 (金)
営業・販売	73	33.2	64.4	78.5	47.3	48.5	57.8	61.2	65.1
管理・事務	115	28.3	78.1	91.1	37.4	40.1	47.1	49.2	49.5
専門・技術	117	32.0	65.2	81.3	44.3	42.9	49.3	49.8	51.7
全職種	500	42.8	75.3	82.9	54.8	58.3	61.4	65.9	65.3

※サンプル数が一定以上の業種・職種のみ抜粋

## ■日別 普段（100.0）に対する低減度【テレワーク状況別】

- 原則テレワークで勤務している人は、全体的に低減度が高い  
（東京では4/6で7.5割から、その後8.5割前後へ推移。大阪では4/6に6.5割から、8割前後へ推移）
- 部分的なテレワーク（稼働日のうち2～3回以下）の場合やテレワーク未実施の場合は、低減度が低い
- 大阪では、部分的なテレワークの人が4/6の時点で東京をやや下回っているが、週末には東京と同水準の低減率となっている

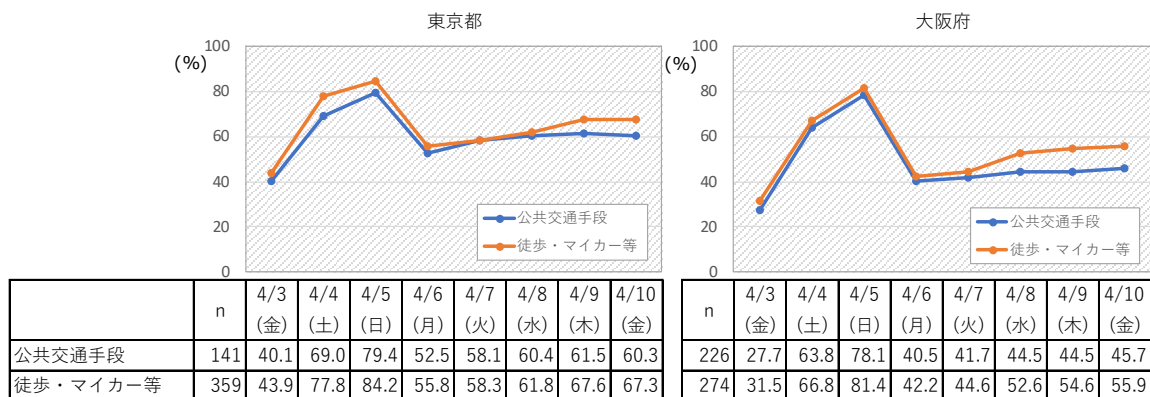
### 4/3～4/10 【仕事】の人との接触における低減度【テレワーク状況別】（平均）



## ■日別 普段（100.0）に対する低減度【通勤の交通手段別】

- 大阪では、公共交通手段以外では平日の低減度が5割以上になっているが、公共交通手段の人が、約10ポイント低くなっている。東京では、その差は6～7ポイントとなっている

### 4/3～4/10 【仕事】の人との接触における低減度【通勤の交通手段別】（平均）



※公共交通機関は「電車」、「バス」の平均値、徒歩・マイカー等は「徒歩・自転車」及び「マイカーやバイク・社用車」、「その他」の平均値

## ■実施概要

- 調査地域 東京都・大阪府
- 調査方法 インターネット調査 ※インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査
- 調査対象 20歳以上男女モニター（通勤を伴う仕事をしている人）
- 有効回答 ①東京都・大阪府 各500サンプル割付回収（全1000サンプル回収）
- 調査内容 業種/職種/通勤交通手段/通勤所要時間/テレワーク状況  
接触状況調査期間 2020年（令和2年）4月3日（金）～4月10日（金）
- 調査期間 2020年（令和2年）4月11日（土）～4月12日（日）
- 資料の見方 nと表記がある数値は、構成比（%）算出の基数（調査数）である  
構成比（%）は、小数点第二位を四捨五入しており、合計が100.0にならない場合がある  
M.A.と表記がある設問は、多肢式（複数回答可）のため、合計は100%以上となる

## ■回答者のプロフィール（1）

### 性別

(人)

	東京都	大阪府
男性	250	250
女性	250	250
合計	500	500

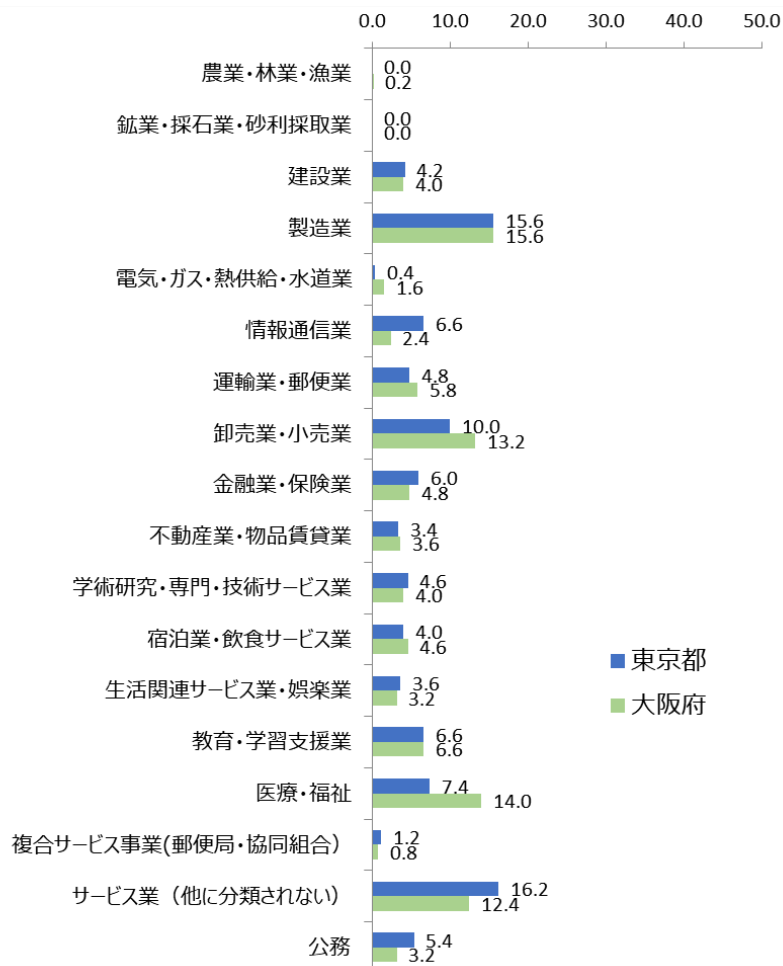
### 年齢層

(人)

	東京都	大阪府
20歳代	100	100
30歳代	100	100
40歳代	100	100
50歳代	100	100
60歳以上	100	100
合計	500	500

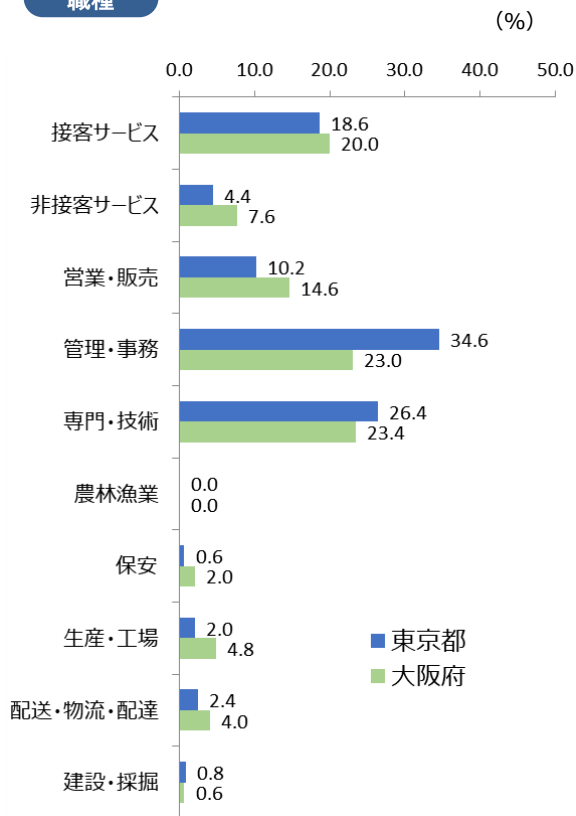
### 業種

(%)

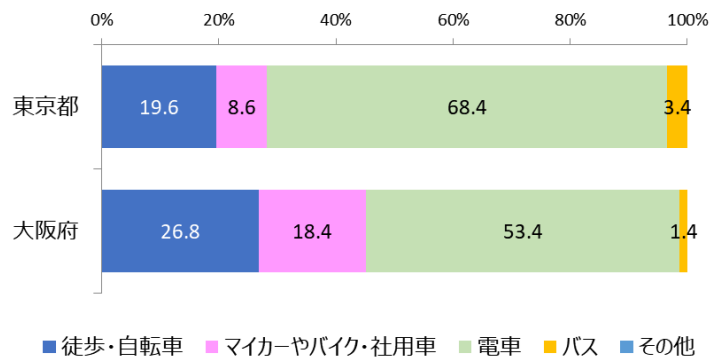


## ■回答者のプロフィール（2）

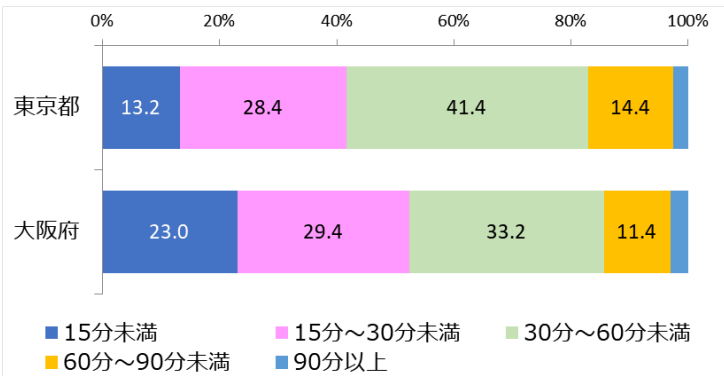
### 職種



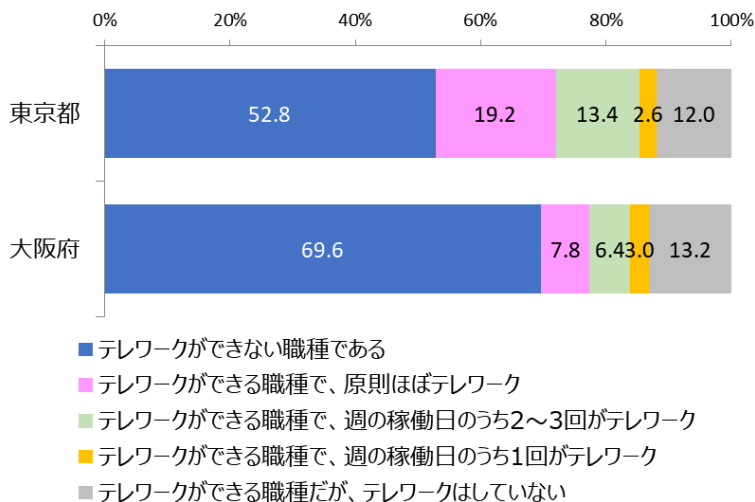
### 通勤時の交通手段



### 通勤の所要時間(片道)



### テレワークの状況



## ■サーベイリサーチセンター 会社概要

---

- 会社名 : 株式会社サーベイリサーチセンター
- 所在地 : 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号
  
- 設立 : 1975 (昭和50) 年2月
- 資本金 : 6,000万円
- 年商 : 74億円 (2019年度)
  
- 代表者 : 代表取締役 藤澤 士朗、長尾 健、石川 俊之
- 社員数 : 社員271名、契約スタッフ456名 合計724名 (2020年3月1日現在)
- 事業所 : 東京 (本社)、札幌、盛岡、仙台、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、熊本、那覇
  
- 主要事業 : 世論調査・行政計画策定支援、都市・交通計画調査、マーケティング・リサーチ
  
- 所属団体 : 公益財団法人 日本世論調査協会  
一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会 (JMRA)  
日本災害情報学会  
一般社団法人 交通工学研究会 他
  
- その他 : ISO9001認証取得 (2000年6月)  
プライバシーマーク付与認定 (2000年12月)  
ISO20252認証取得 (2010年10月)  
ISO27001認証取得 (2015年11月) ※

※認証区分及び認証範囲 :

- ・MR部及びGMR部が実施するインターネットリサーチサービスの企画及び提供
- ・全国ネットワーク部及び沖縄事務所が実施する世論・市場調査サービスの企画及び提供

## ■本件に関するお問合せ先

---

**株式会社サーベイリサーチセンター** <https://www.surece.co.jp/>

- 広報担当 : 松下 正人 E-mail : src\_support@surece.co.jp  
品質部  
TEL : 03-3802-6779 FAX : 03-3802-6729
  
- 調査担当 : 石川 俊之 E-mail : ishi\_t@surece.co.jp  
岩崎 雅宏 E-mail : iwa\_m@surece.co.jp  
営業企画本部  
TEL : 03-3802-6727 FAX : 03-3802-7321
  
- 調査結果の引用にあたっては、事前に当社にご連絡頂いた上で、調査主体 (当社名) を必ず明記して利用してください
- 調査結果の無断転載・複製を禁じます
- 本紙に記載している情報は、発表日時点のものです